



有線インターフェイスの設定

- [有線インターフェイスの有効化と無効化（1 ページ）](#)
- [最大伝送単位設定の設定（2 ページ）](#)

有線インターフェイスの有効化と無効化

有線インターフェイスの設定は UIW リリース 17.12.1 から導入され、この機能により有線インターフェイスを無効にできます。両方の有線インターフェイスを同時に無効にすることはできません。CLI を使用して有線インターフェイスを有効にできます。

CLI を使用した有線インターフェイスの有効化または無効化

特定の有線インターフェイスを有効または無効にするには、次の CLI コマンドを使用します。

```
Device# configure wired <0-1>
        disabled disable wired interface
        enabled enable wired interface
```

例：

```
Device# configure wired 0 disabled
Device# configure wired 1 enabled
Device# write
Device# reload
```

エラー処理設定

次の CLI コマンドは、両方のインターフェイスが無効モードとして設定されている場合にエラーを表示します。

```
Device # configure wired 0 disabled
Device# configure wired 1 disabled
ERROR: Interface wired0 is disabled, cannot disable both interfaces
```

CLI を使用した有線インターフェイスの有効化と無効化の確認

有線インターフェイスの有効状態または無効状態を確認するには、次の show コマンドを使用します。

```
Device# #show wired <0-1> config
```

例：

```
Device# show wired 0 config
      WIRED0 status: enabled
Device# show wired 1 config
      WIRED1 status: disabled
```

最大伝送単位設定の設定

URWB ネットワークを介して転送できる最大フレームサイズを設定できます。この設定は、URWB ネットワーク内のすべてのアクセスポイントで設定する必要があります。

CLI を使用した MTU 設定の設定

有線インターフェイスの MTU 値を変更するには、次の CLI コマンドを使用します。

```
Device# configure wired mtu
      <1530-1600> Unsigned integer set wired mtu
```

例：

```
Device# configure wired mtu 1600
Device# write
Device# reload
```

CLI を使用した MTU 設定の確認

有線インターフェイスの MTU 値を確認するには、次の show コマンドを使用します。

```
Device# show wired mtu
```

例：

```
Device# show wired mtu
      Configured MTU: 1600
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。